

**鴨川市地域公共交通網形成計画
の改定に係るアンケート調査結果
(概要)**

平成 29 年 12 月

1 公共交通に関する市民アンケート調査

市民の交通行動や既存公共交通機関に対する改善要望、潜在的な移動ニーズ等を把握するため、市民アンケート調査を以下のとおり実施した。

実施期間	平成 29 年 10 月 14 日から 10 月 31 日まで
調査対象者	15 歳以上の市民 2,000 人（住民基本台帳により無作為抽出）
回収状況	配布数 2,000 票、回収票数 901 票、回収率 45.1%
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査項目	<ul style="list-style-type: none">○回答者の属性（住まい、性別、年齢、職業、自動車の所有状況、自動車運転免許の有無、自分で自動車を運転することに対する考え方、何歳まで運転を続けると思うか）○外出時における現在の移動状況及び将来の移動に対する不安度○日常的な外出行動（主な行き先、利用交通手段、外出頻度）○外出する時の不便度（困ることの有無、困る時の外出目的・行き先）○鉄道について（利用目的、運行サービスに対する満足度、通勤に許容できる時間、通勤利用条件）○高速バスについて（利用頻度、利用目的、運行サービスに対する満足度、通勤に許容できる時間、通勤利用条件）○市内のバス交通について（自宅近くのバス停の有無、バス交通利用の有無、利用目的、利用頻度、バス交通を利用しない理由、運行サービスに対する満足度）○タクシーについて（利用頻度、利用目的、サービスに対する満足度）○公共交通の利用を促進するための効果的な取組について○公共交通の利用意向○公共交通の維持・確保のあり方（取組みの方向性、地域での助け合いの必要性、維持・充実のための方法）○公共交通に関する意見・要望（自由記述）

(1) 回答者の属性

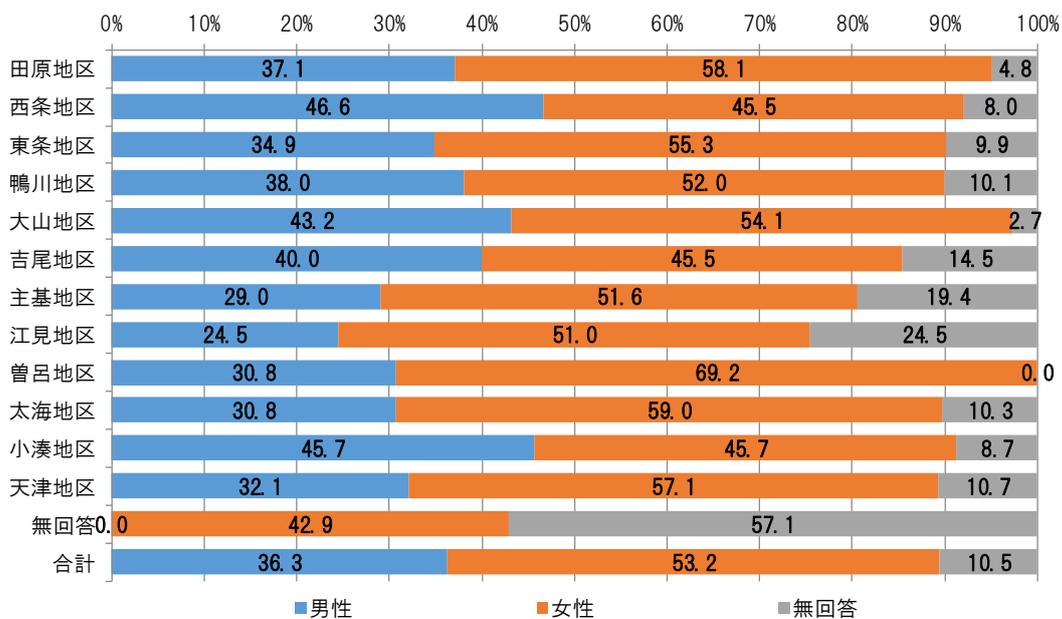
性別は「男性」が 36.3%、「女性」が 53.2%とやや女性の割合が、年齢は 60 歳以上の方の割合が 56.4%と高い。また、職業は「無職」が 27.2%、「会社員・公務員」が 26.7%と割合が高い。

自動車の所有状況は「自分専用の自動車がある」方、「家族共用の自動車がある」方が 78.9%を占めているが、前回調査と比較して 16.4 ポイントの減少となっており、「車を持っていない」方の割合が、4.0%から 17.9%に 13.9 ポイント増加した。また、自動車運転免許の有無は、「ある」と回答した方の割合が 76.2%と高い。「ない」と回答した方と「運転免許返納済」の方を合わせると 21.6%を占めている。

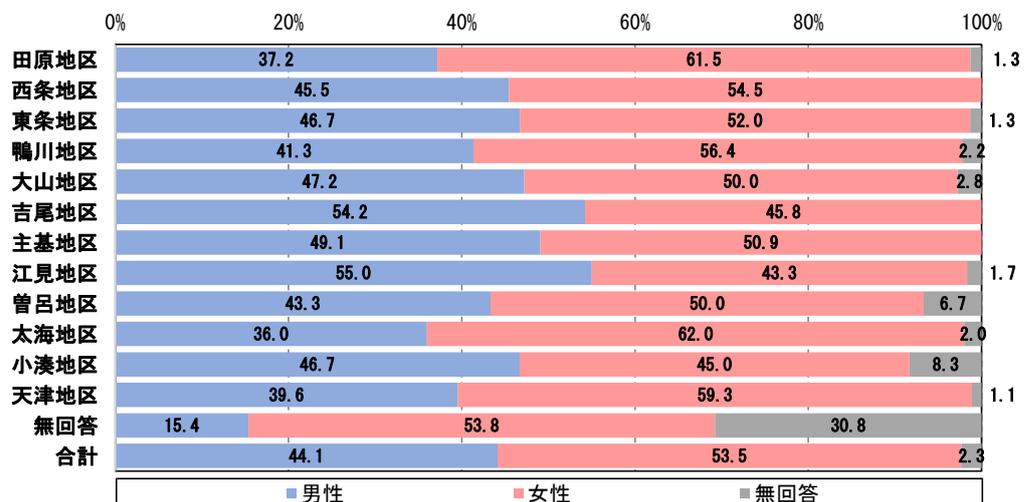
自動車運転については、「運転は苦にならない」方が 8 割以上を占めている。年齢別に見ると、「60 歳代」、「70 歳代」及び「80 歳以上」で「運転に苦痛・不安を感じはじめている」、「自分で運転することを控えている」と回答した方が 14.5%~19.9%となっており、前回調査と比較して、「70 歳代」では 3.4 ポイント減少している一方、「80 歳以上」では 0.5 ポイントの増加、特に「60 歳代」では 12.4 ポイントの大きな増加となっている。

何歳まで運転を続けるかどうかについては、「75~84 歳」が 41.0%、「65~74 歳」が 22.9%と高い割合となっている。

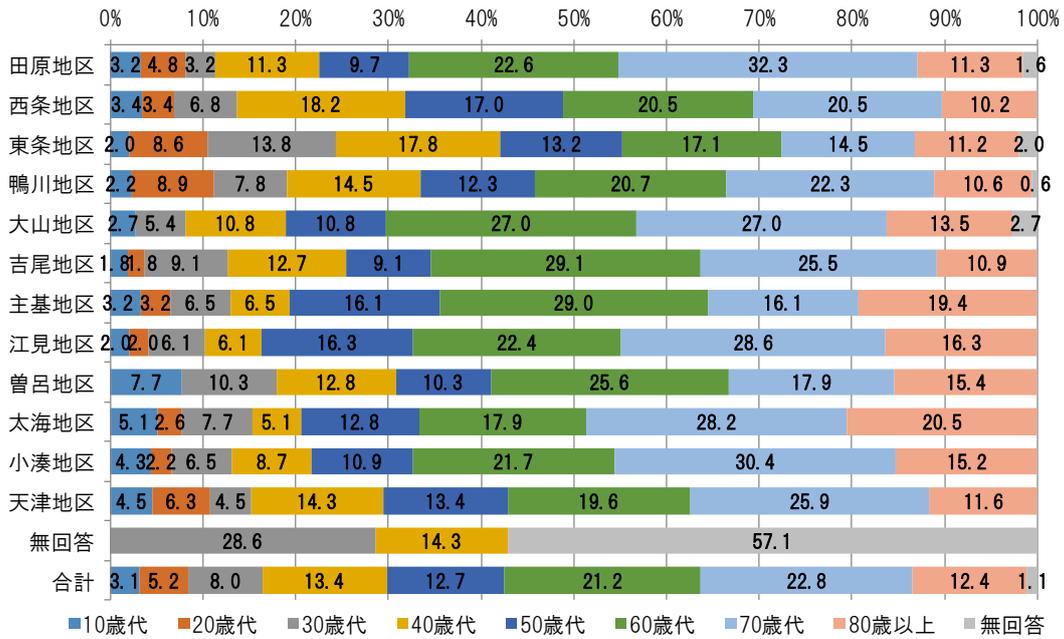
■性別



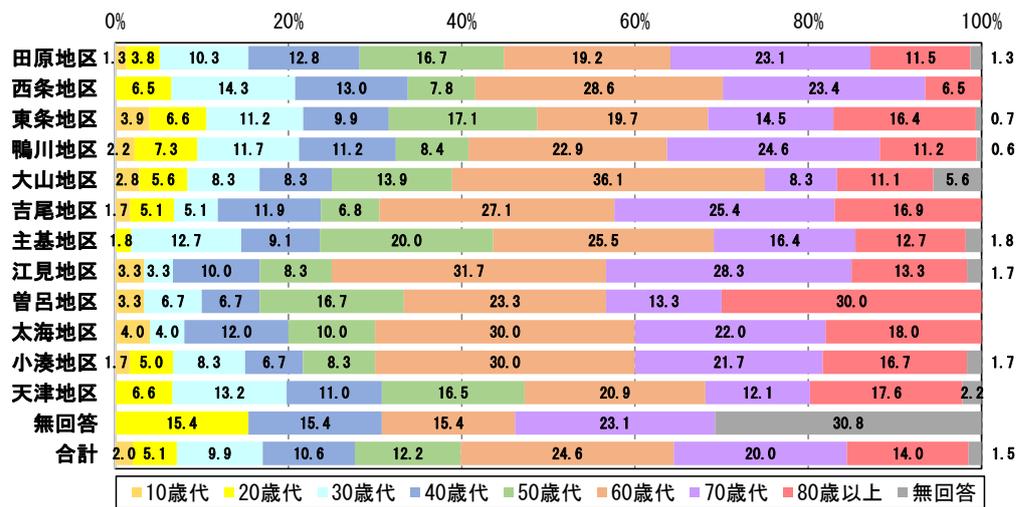
【参考：平成 26 年度調査結果】



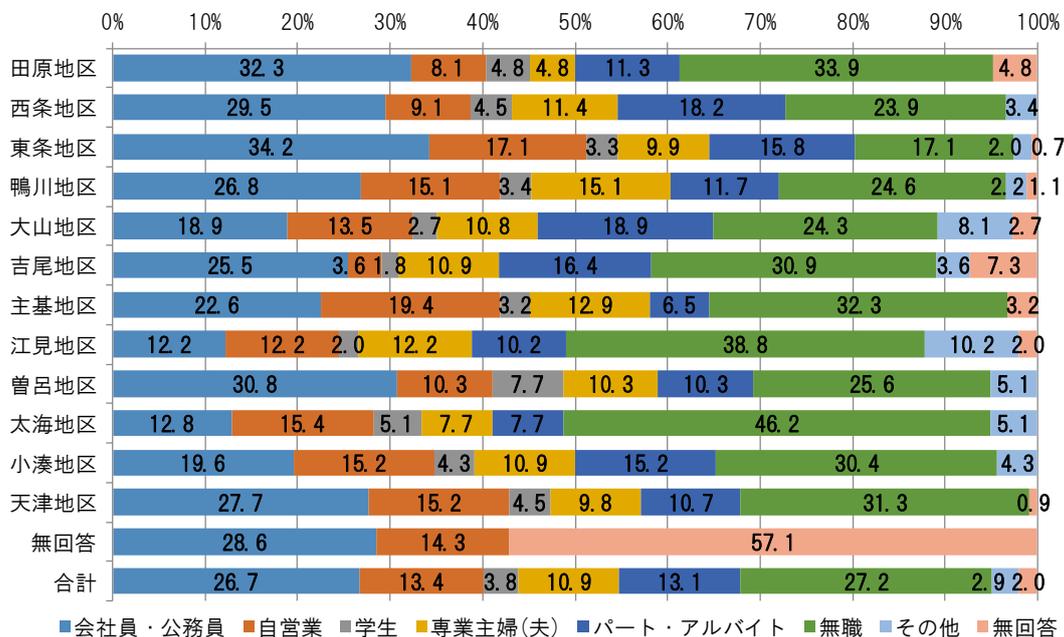
■年齢



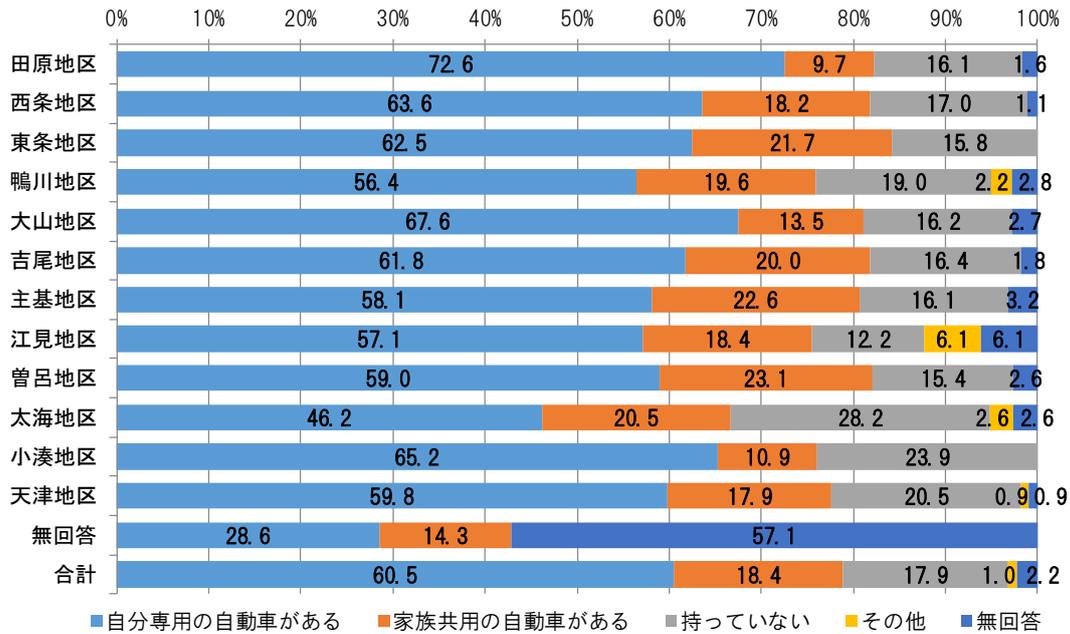
【参考：平成 26 年度調査結果】



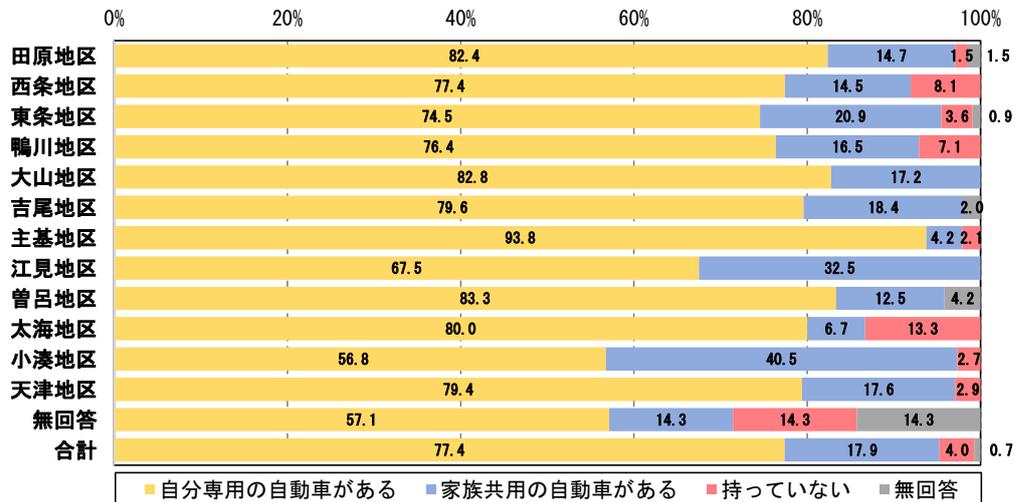
■職業



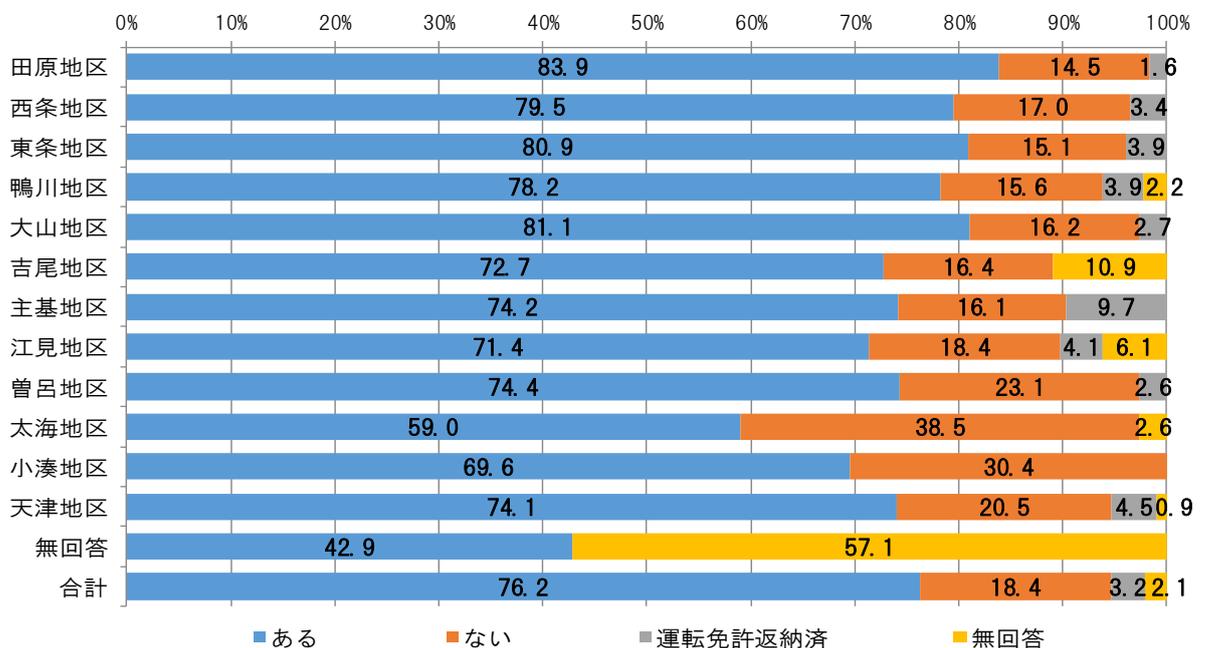
■ 自動車の所有状況



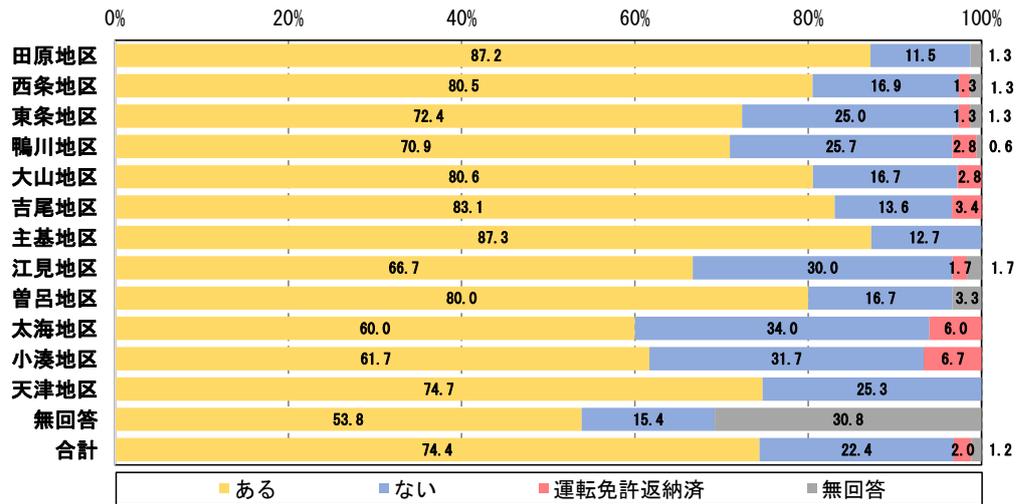
【参考：平成 26 年度調査結果】



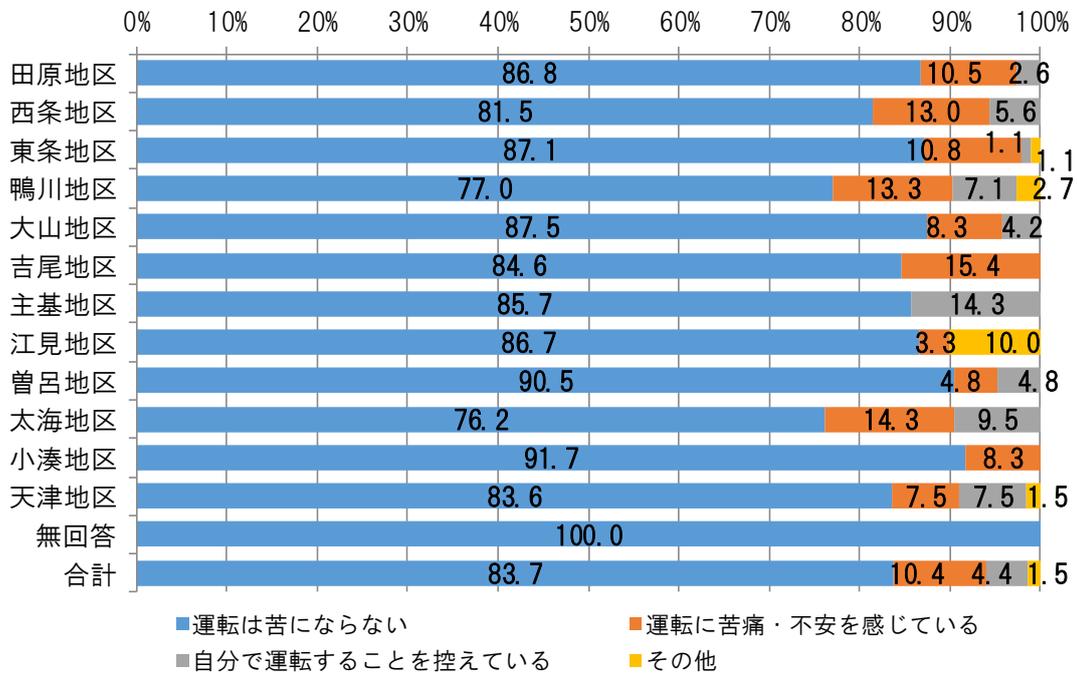
■ 自動車運転免許の有無



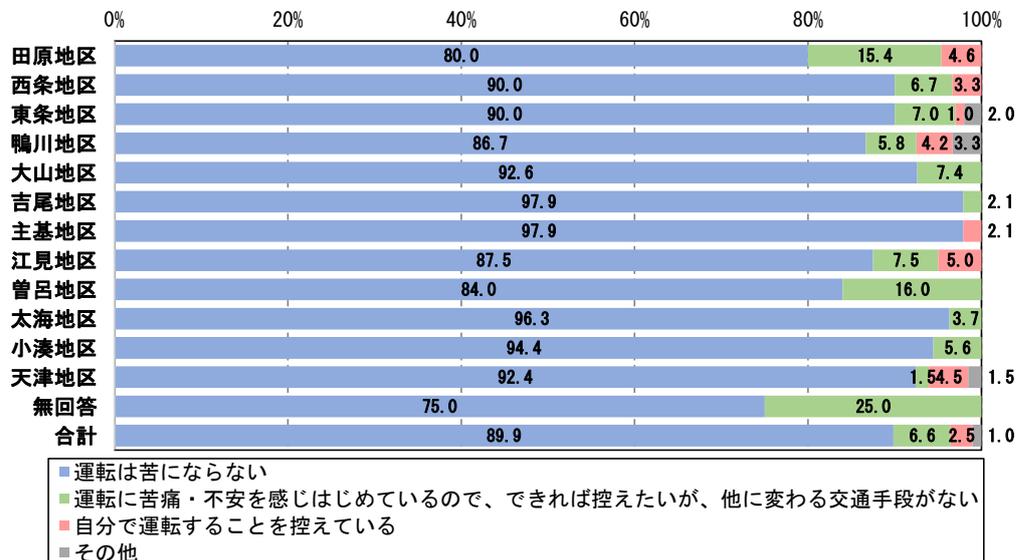
【参考：平成 26 年度調査結果】



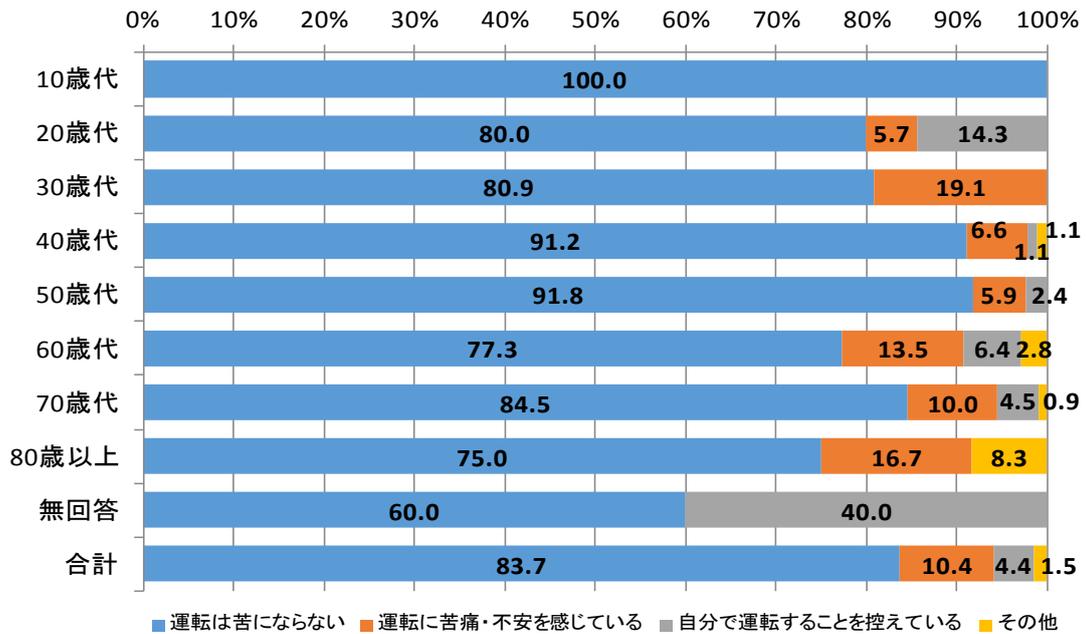
■自動車運転に対する考え方
 □地区別運転に対する考え方



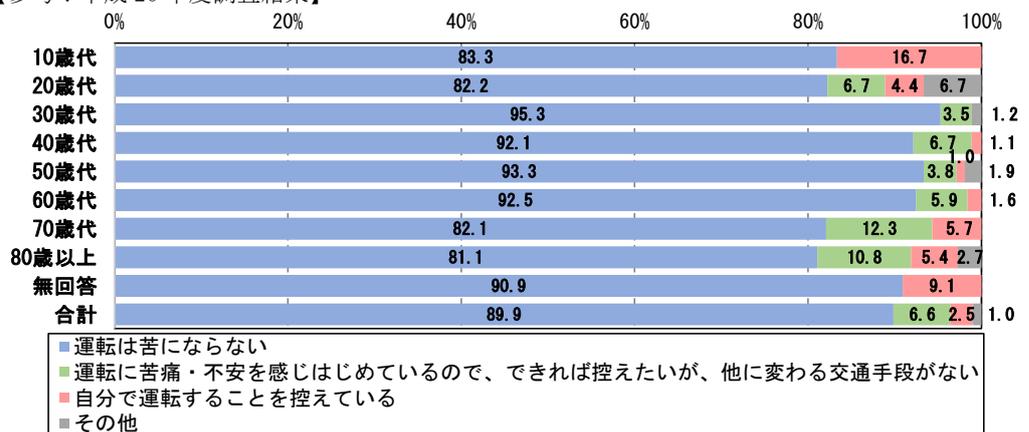
【参考：平成 26 年度調査結果】



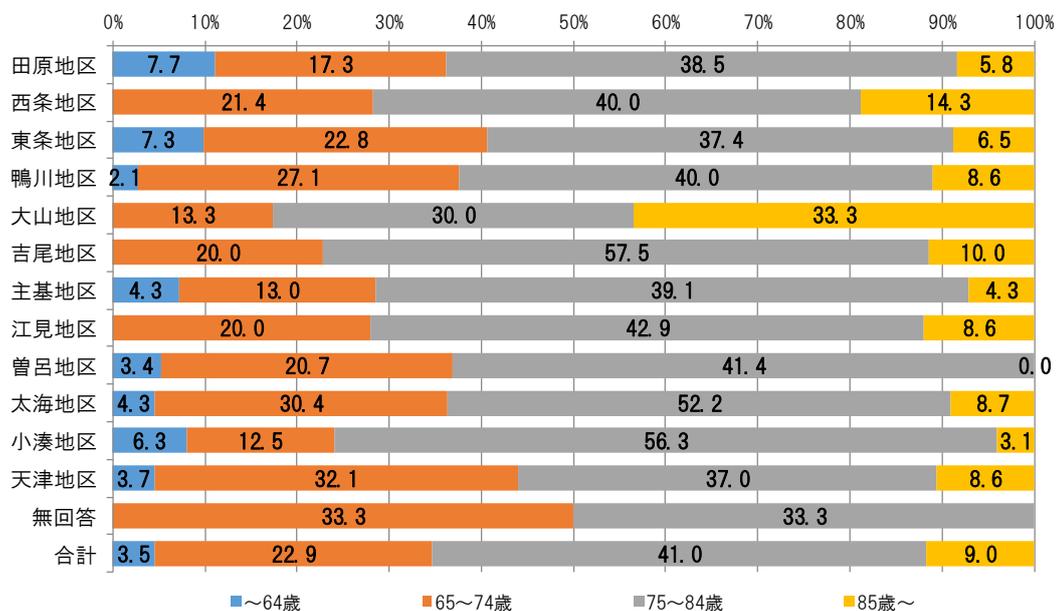
口年齢別運転に対する考え方



【参考：平成 26 年度調査結果】



口運転を何歳まで続けるつもりか

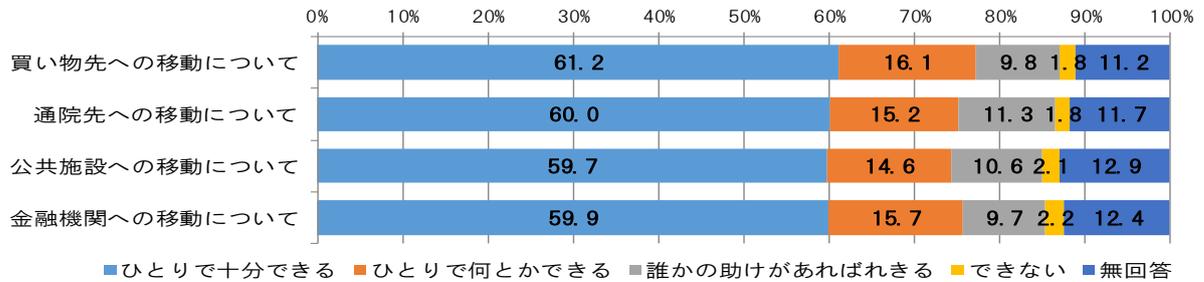


(2) 外出時における現在の移動状況及び将来の移動に対する不安度

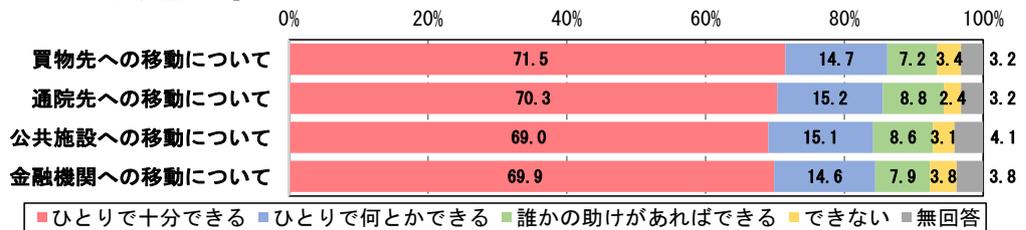
外出時における現在の移動状況は、各目的とも「ひとりで十分できる」と「ひとりで何とかできる」の合計が7～8割を占めており、「誰かの助けがあればできる」が10%前後、「できない」が2%前後となっている。

将来の外出に対する不安度は、各目的とも10歳代から50歳代までは「不安がある」より「不安がない」の割合が上回っているが、60歳以上から「不安がある」の割合が上回るようになり、高齢になる程、不安を抱える割合が高くなっている。

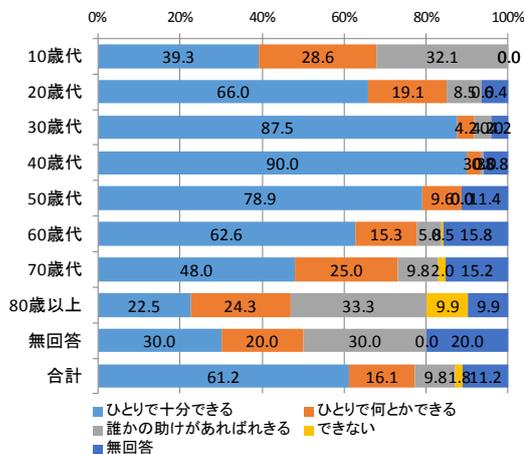
■現在の外出状況



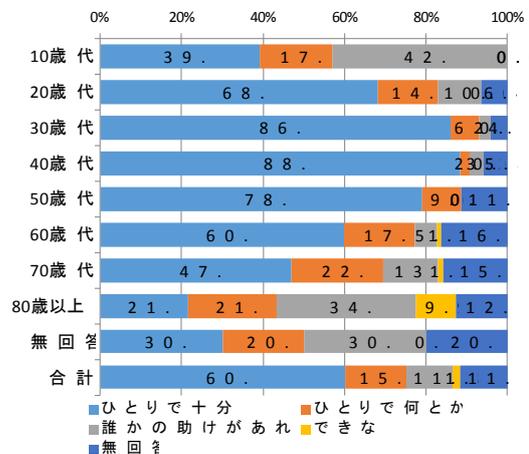
【参考：平成26年度調査結果】



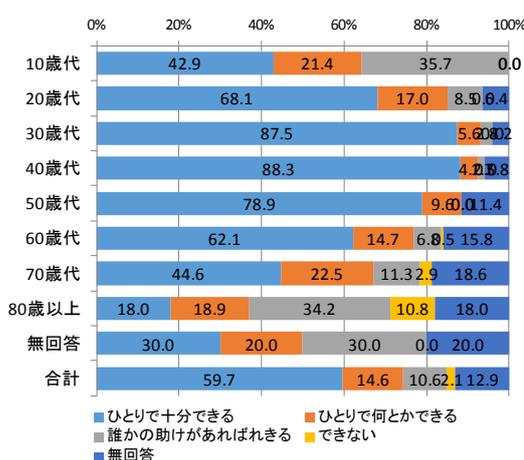
[買い物先への移動について]



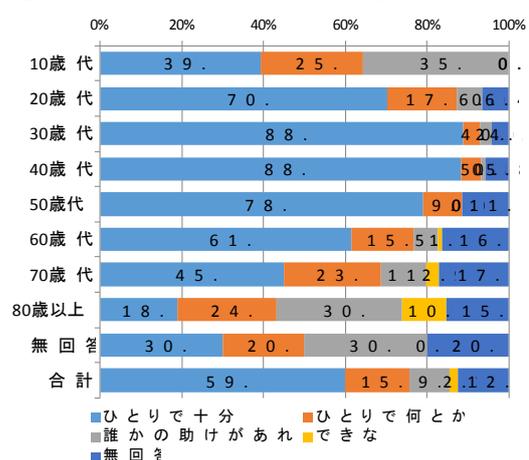
[通院先への移動について]



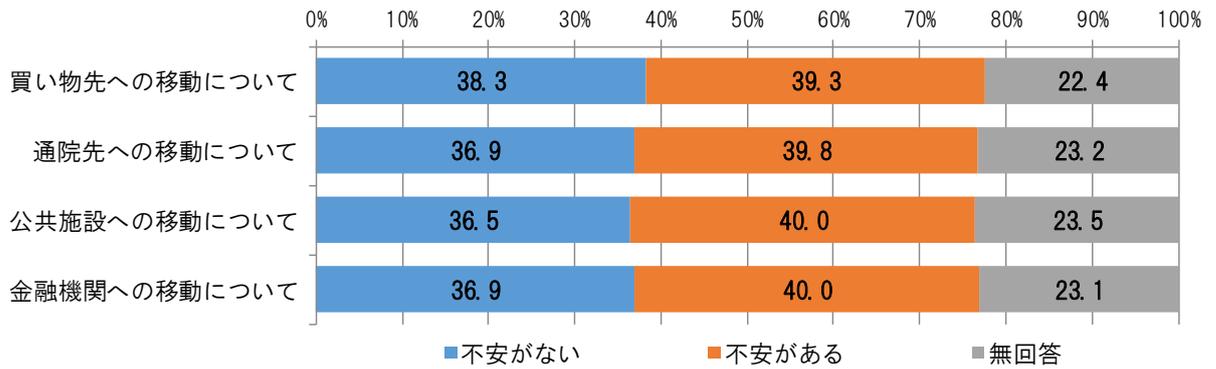
[公共施設への移動について]



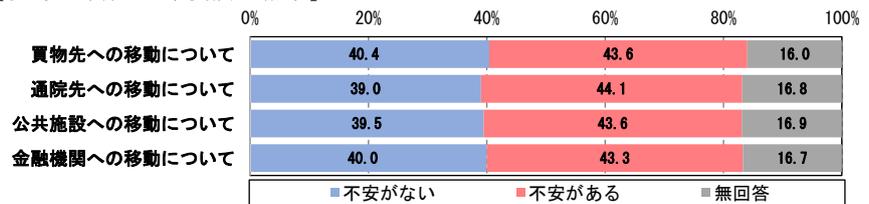
[金融機関への移動について]



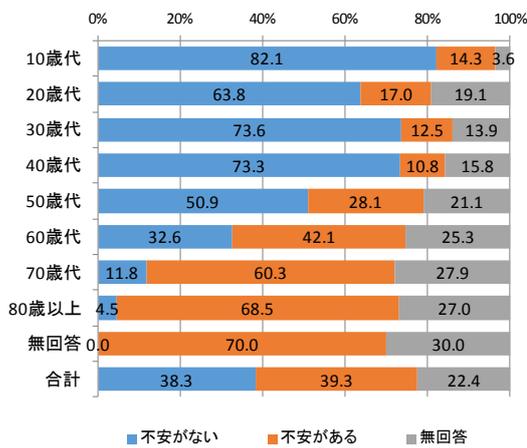
■将来の外出に対する不安度



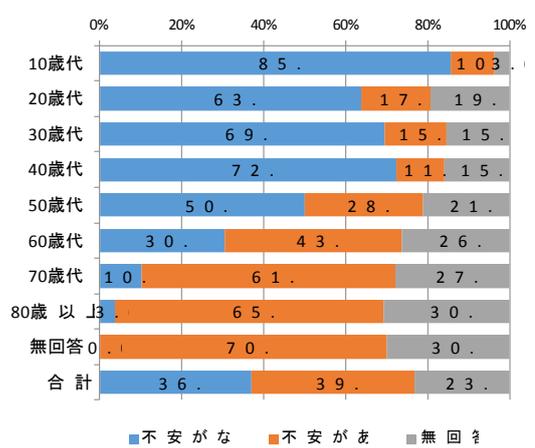
【参考：平成26年度調査結果】



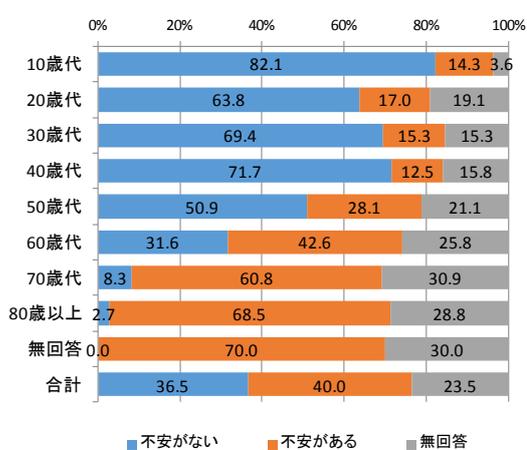
[買い物先への移動について]



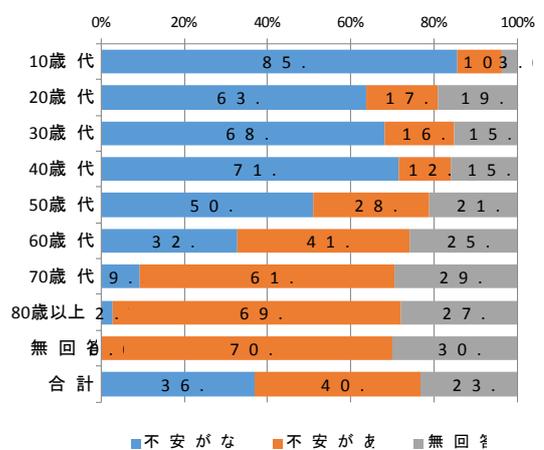
[通院先への移動について]



[公共施設への移動について]



[金融機関への移動について]



(3) 日常の外出行動について

主な行き先は、『通勤・通学』では「市内」、『日常の買物』では「おどや」、「ベイシア鴨川店」、「イオン鴨川店」、『通院』では「亀田総合病院」、『公共施設利用』では「鴨川市役所」が多い。前回調査と比較して、『日常の買物』における目的施設の割合に変化が生じているものの、全体的な主な行き先に大きな変化は生じていない。

主に利用している交通手段は、各目的とも「自分で車を運転」が7割前後と高く、「鉄道」は0～4%、「路線バス」は1～4%、「鴨川市コミュニティバス」は0.5～1%、「タクシー」は0～2%前後となっている。

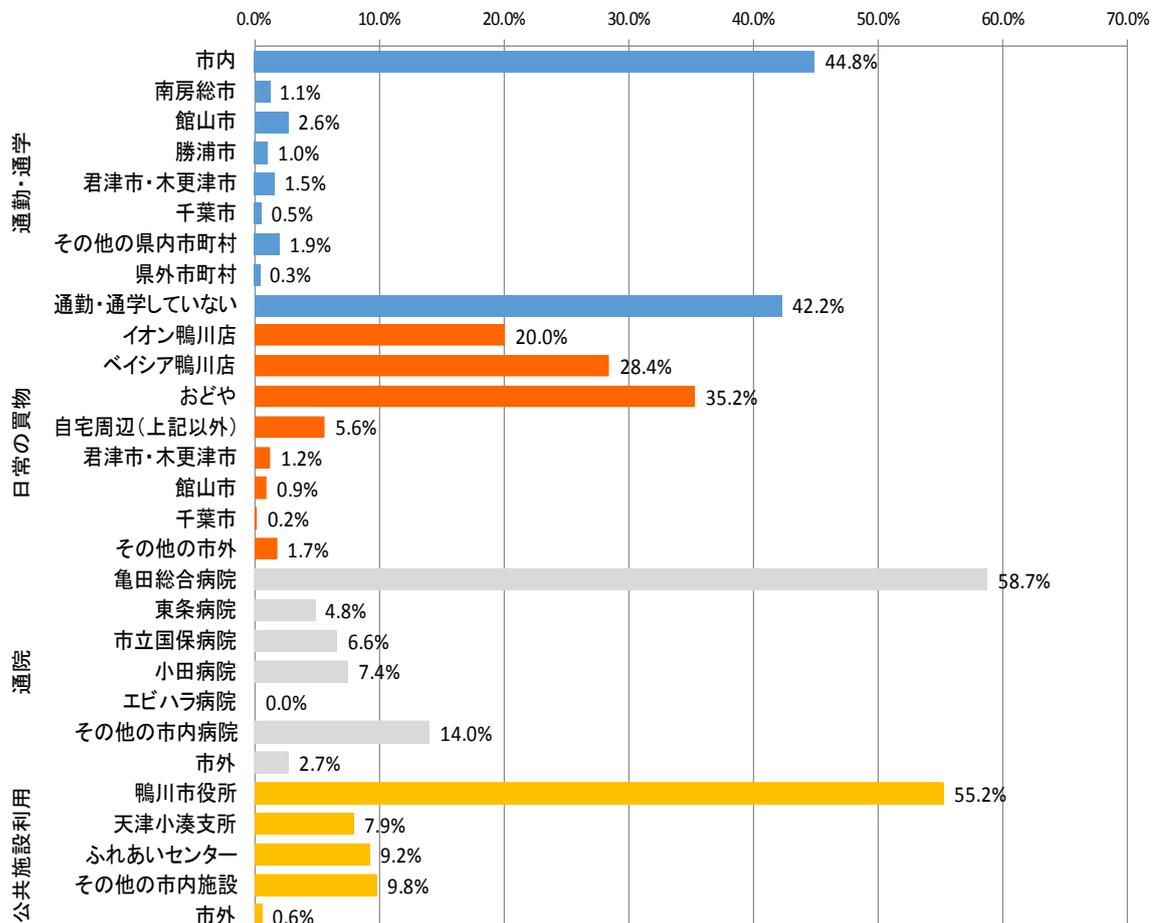
なお、交通手段で鉄道または高速バスと回答した方の駅までの交通手段は、『通勤・通学』では「自分で車を運転」や「家族等の車で送迎」、『日常の買物』では「路線バス」や「家族等の車で送迎」、『通院』では「路線バス」の割合が高い。

外出頻度は、『通勤・通学』、『日常の買物』、『通院』、『公共施設利用』の順で頻度が高くなっている。

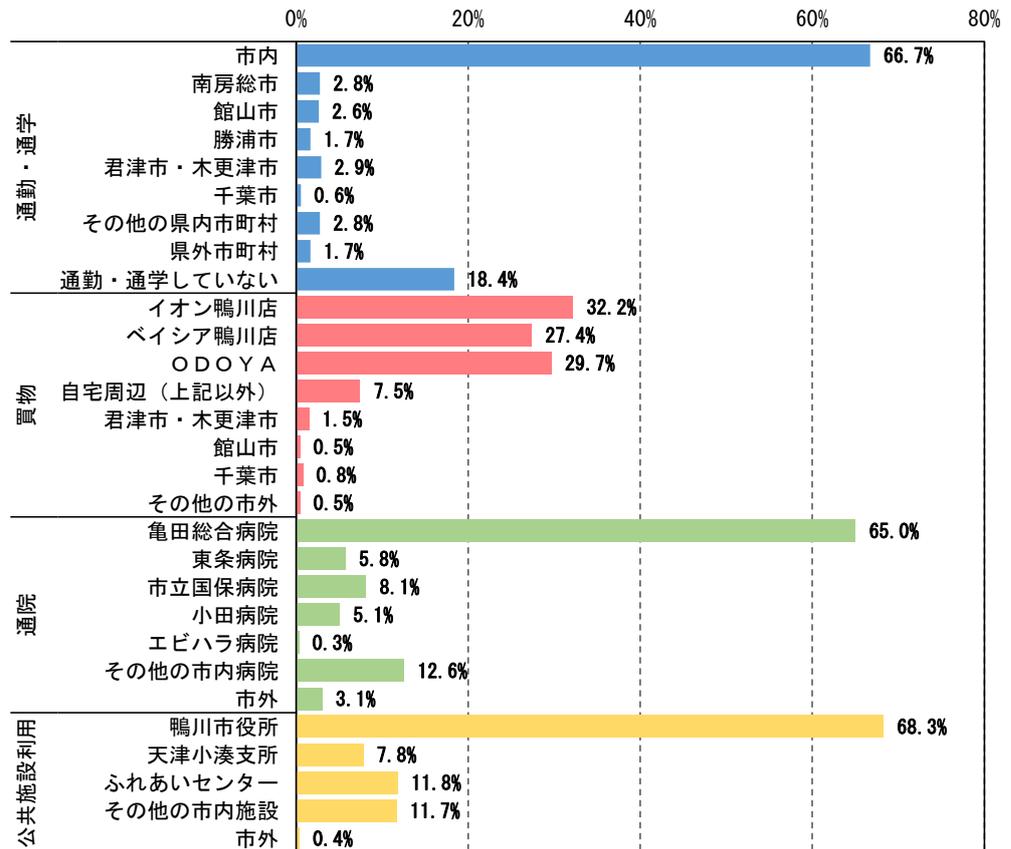
外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の全体の合計は25.8%となっており、地区別に見ると、「困ることがよくある」の割合が「西条地区(12.5%)」、「太海地区(10.3%)」、「主基地区(9.7%)」の順で高く、前回調査からの増加率で見ると、「大山地区」、「田原地区」、「西条地区」の順で高くなっている。また、「困ることがよくある」「困ることがたまにある」の両方の割合は、「太海地区(33.4%)」で最も高く、次いで、「曾呂地区(33.3%)」、「大山地区(29.7%)」となっており、前回調査からの増加率で見ると、「大山地区」、「吉尾地区」、「江見地区」の順で高くなっている。

外出の目的としては、「買い物」、「通院」、「遊び・趣味等」で高く、行き先としては「亀田総合病院」、「ベイシア鴨川店」、「鉄道駅」、「鴨川市役所」の順で割合が高い。

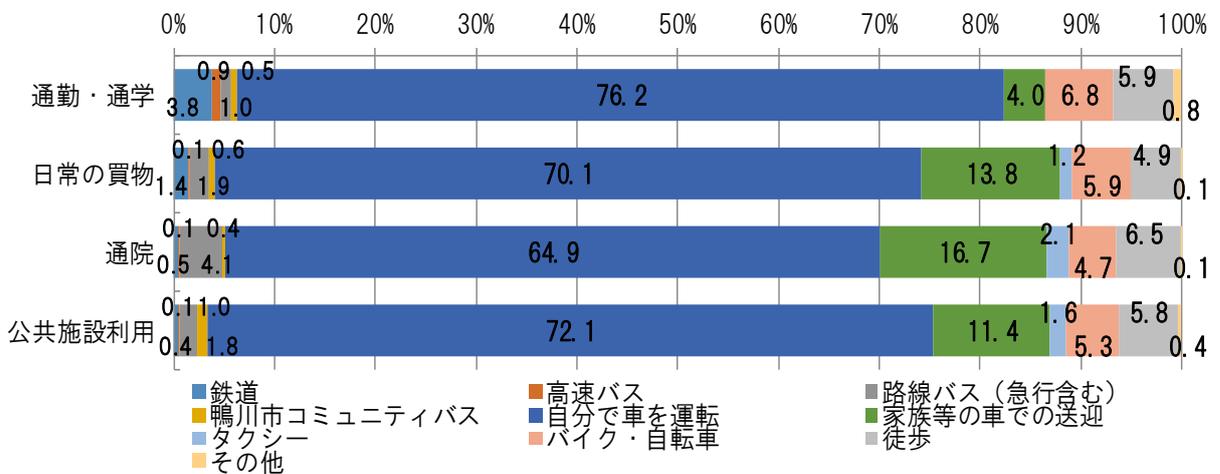
■外出目的別の主な行き先



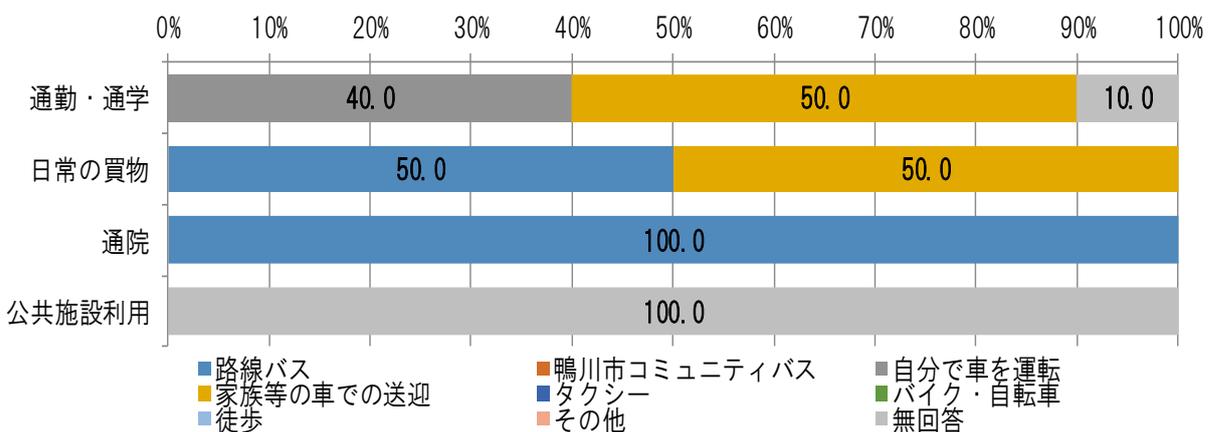
【参考：平成 26 年度調査結果】



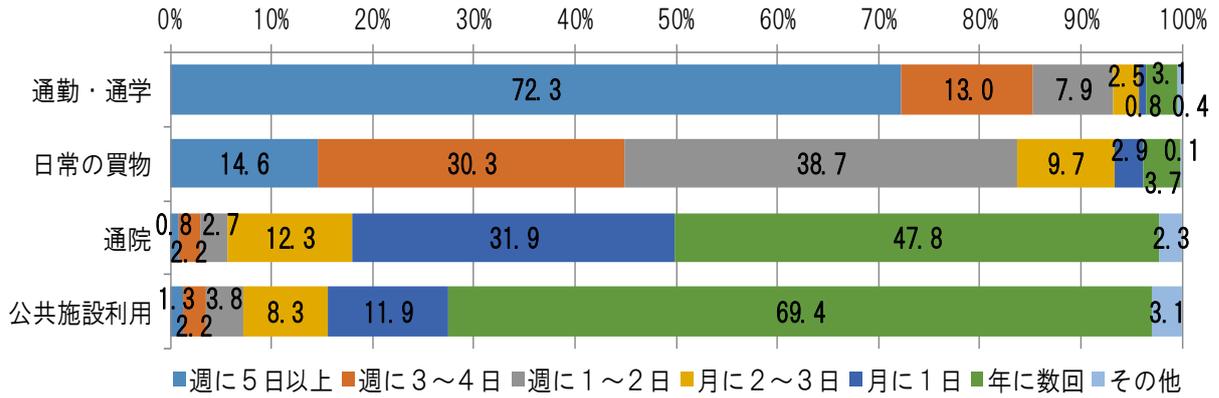
■ 外出時の主な利用交通手段



■ 駅までの交通手段（鉄道、高速バスと回答した方のみ）

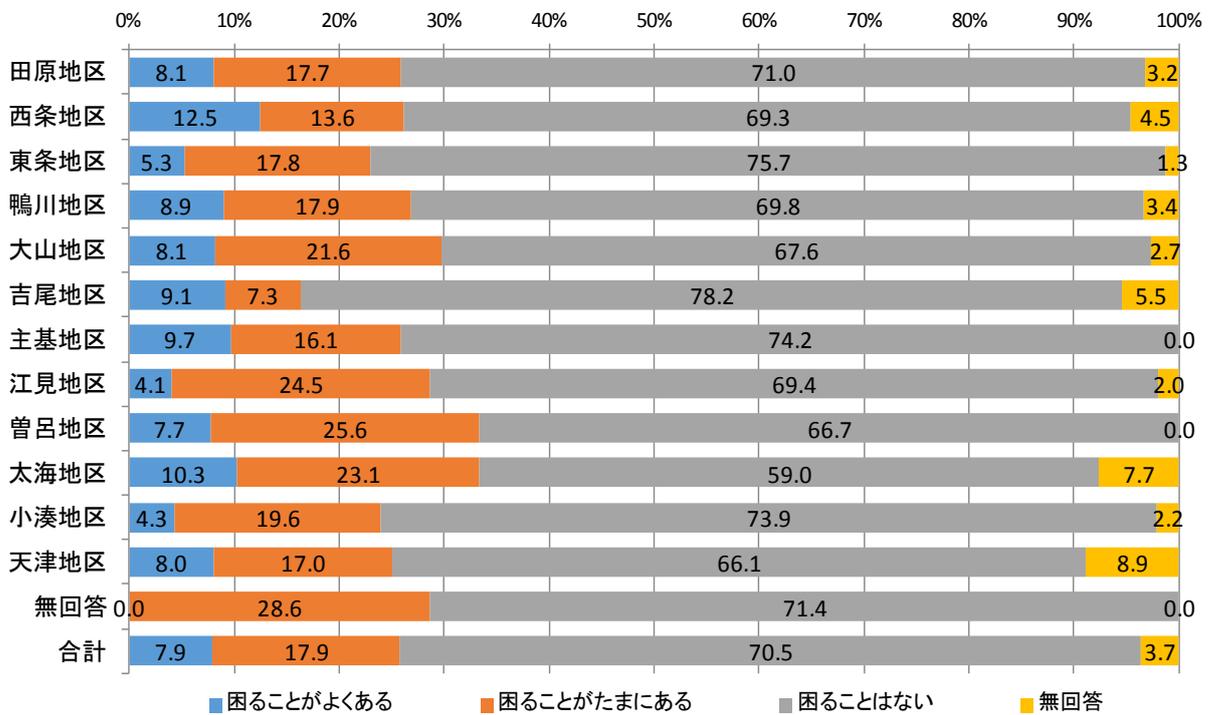


■外出頻度

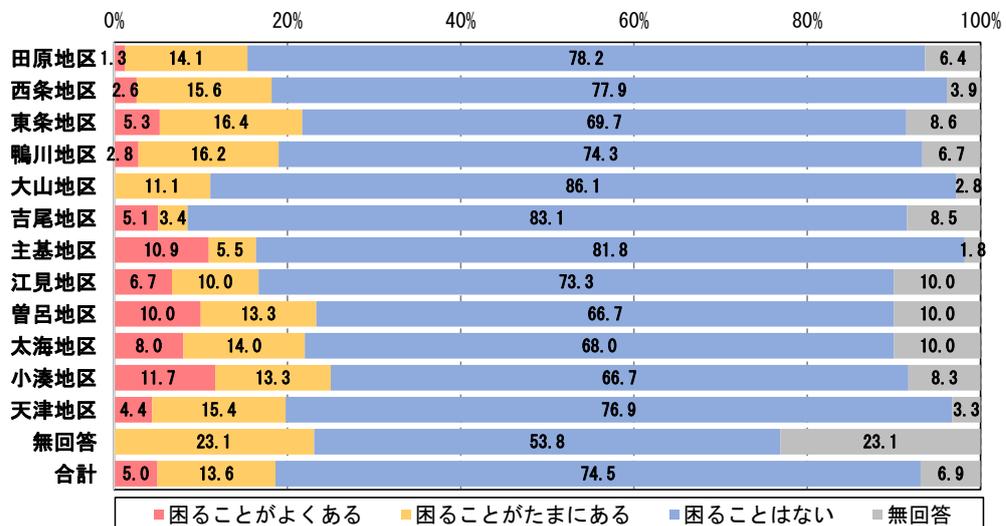


■外出する時の不便度

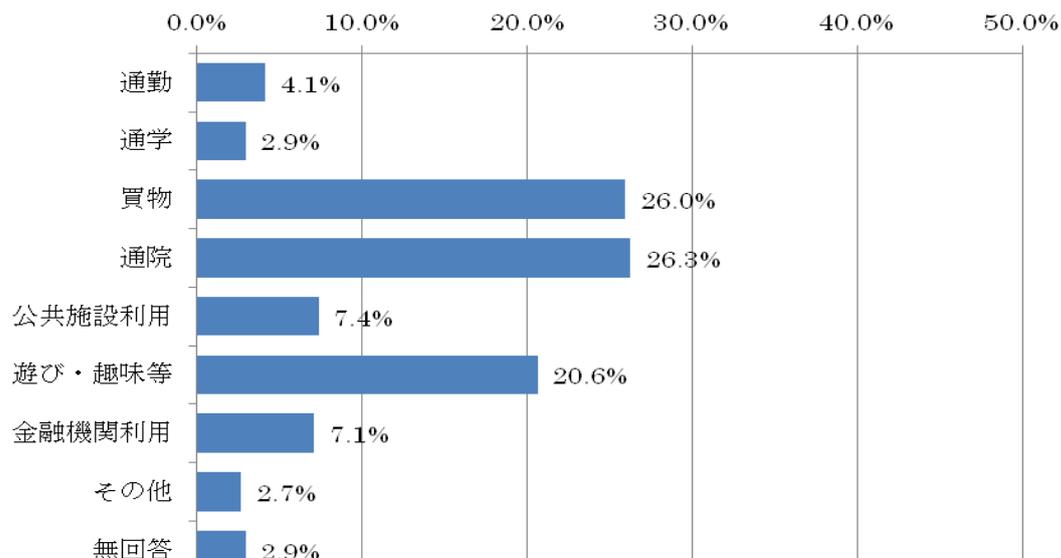
□外出する時に不便で困ることの有無



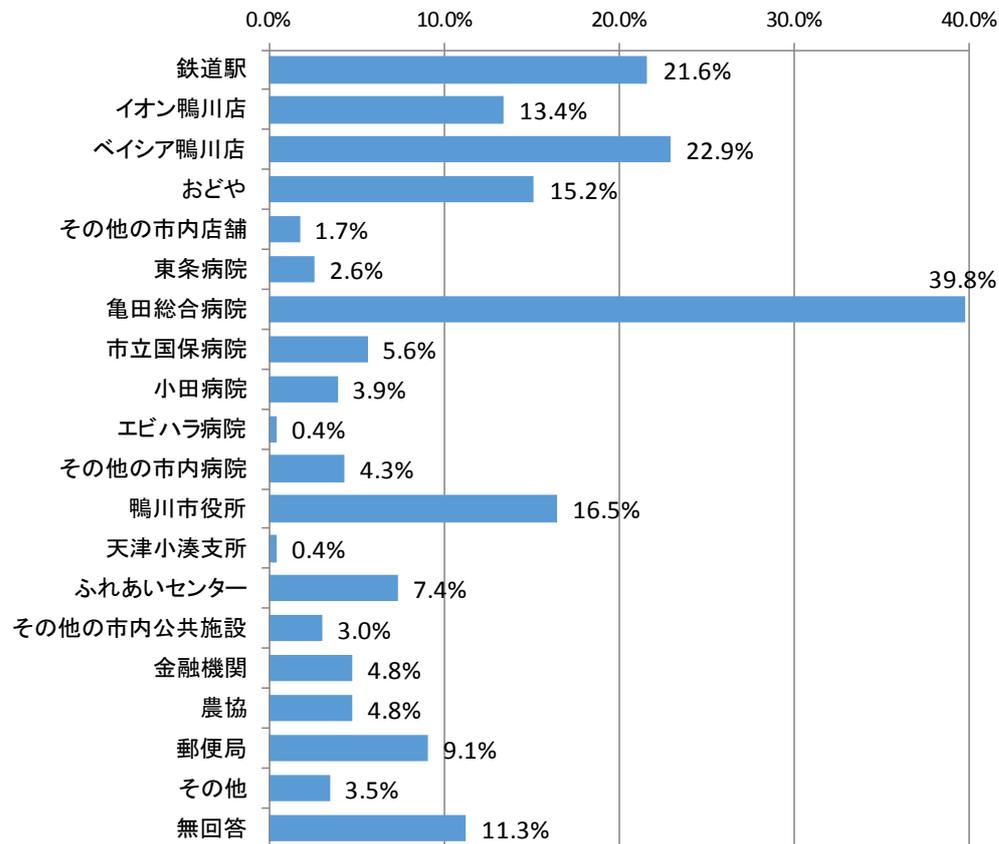
【参考：平成26年度調査結果】



口どのような目的で外出するときに困るか



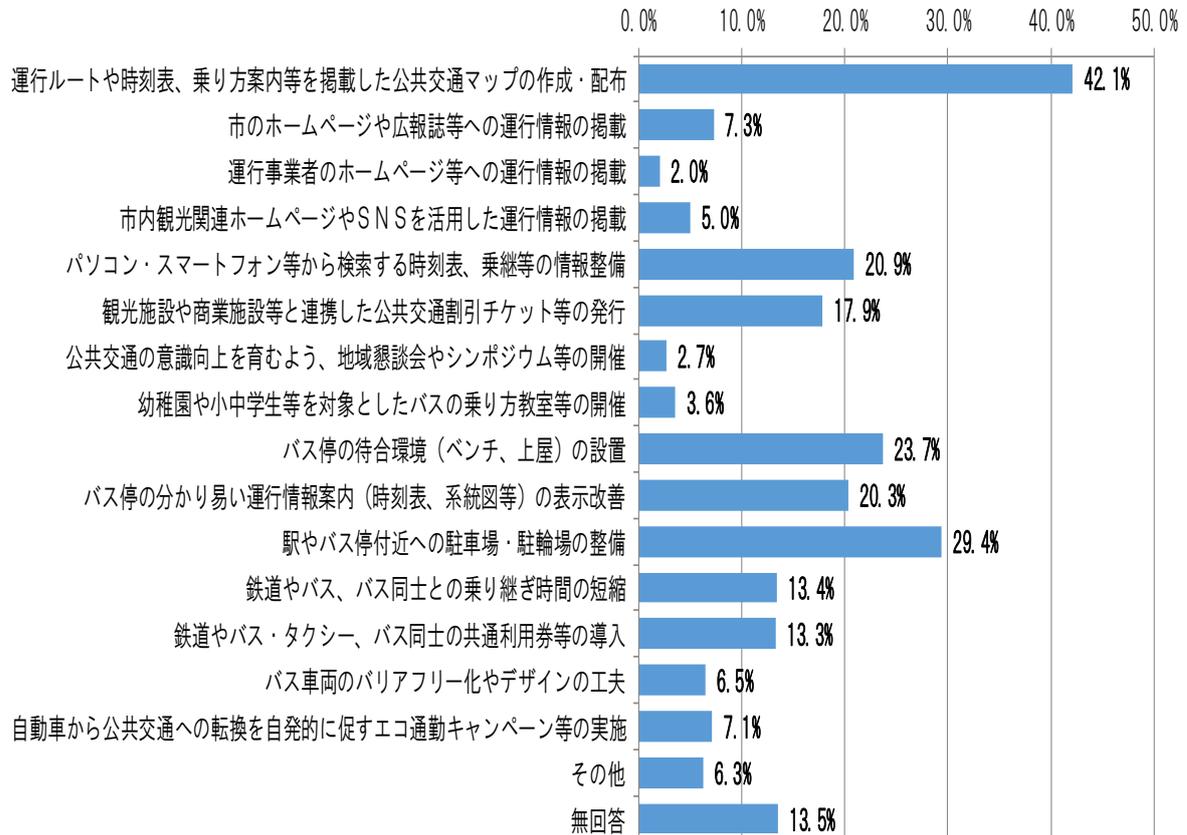
口どこに行くときに困るか



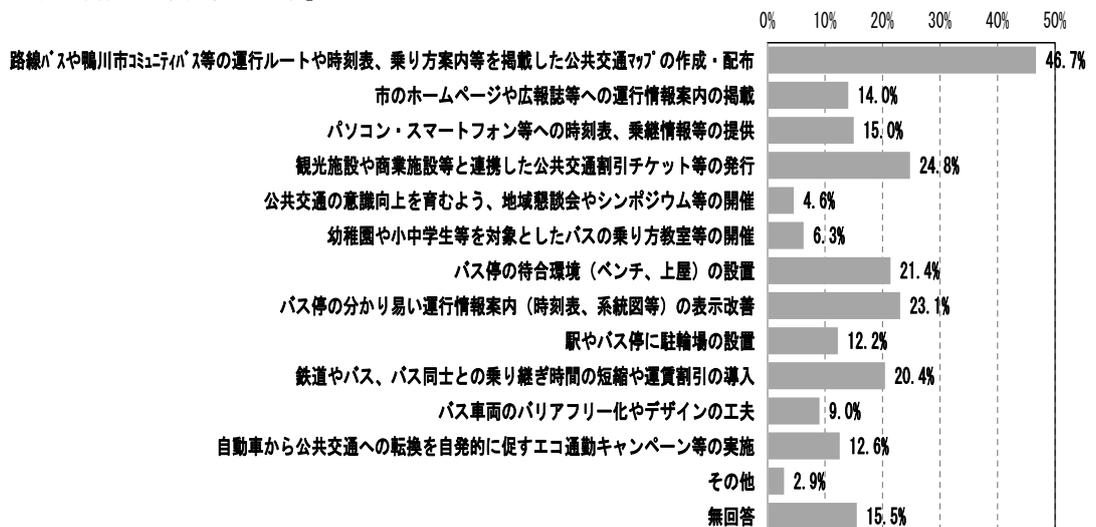
(4) 公共交通の利用促進について

公共交通の利用促進を図るための効果的な取組としては、「運行ルートや時刻表、乗り方案内等を掲載した公共交通マップの作成・配布」が42.1%と最も高く、次いで「駅やバス停付近への駐車場・駐輪場の整備」が29.4%、「バス停の待合環境(ベンチ・上屋)の設置」が23.7%、「パソコン・スマートフォン等から時刻表、乗継等の情報整備」が20.9%、「バス停の分かり易い運行情報案内(時刻表、系統図等)の表示改善」が20.3%の順で高い。

前回調査結果と比較して、「その他」を除き増加した項目は、「駅やバス停付近への駐車場・駐輪場の整備」、「パソコン・スマートフォン等から検索する時刻表、乗継等の情報整備」、「バス停の待合環境(ベンチ、上屋)」の設置」となっている。



【参考：平成26年度調査結果】



※その他…運行本数の増便5件、ICカードの導入2件、運転手のマナー向上1件、高齢者等が利用したい時間帯に合わせた運行1件、運行ルートの拡大1件、運転免許返納の促進1件、わからない4件